日本家庭科教育学会東海地区会、会員の皆様へ

2025年度地区会長 横山 真智子

■ 今年度も研究助成を行います。奮ってご応募ください。

日本家庭科教育学会東海地区会では、2012年度総会において、本地区会の創設50周年を記念し、会員の研究活動を推進することを目指して「研究活動費」を予算化しました。2025年度も継続して研究助成を行います。今年度のテーマは昨年度と同じ以下のテーマです。皆様にこの研究助成を活用していただき、家庭科教育の発展に役立つ研究をしていただくことを願っております。

募集のテーマ:持続可能な社会の構築につながる家庭科の内容に関する研究

申請の条件及び方法

1. 個人、またはグループの研究であること。研究メンバーは、本地区会会員であること(非会員の場合は、入会して2025年度の地区会費1,000円を支払うこと。入会申し込みは、以下の2に示す事務局のアドレスまでご連絡ください)。
2. 別紙の申請書(様式1)に記入して、**7月20日まで**に下記宛てにメール送信をすること(申請書は、東海地区会のサイトよりダウンロード、もしくは下記アドレスにご連絡いただければ、Wordファイルを送信します)。
＜事務局＞三重大学 教育学部 家政教育講座 横山 真智子
メールアドレス yokoyama【アット】edu.mie-u.ac.jp
3. 申請された研究は、地区役員会で審議して承認の可否を決定し、その結果を8月上旬に申請者に連絡する。
*判断基準は、得られる結果がテーマに沿ったものになるかどうかとする。
4. 研究助成金の予算額は10万円(1件50,000円×2件)。研究助成金50,000円の使用に際しては各自立て替え払いをし、会計報告書(領収書添付)(様式3)の提出時に現金と引き換える。会計報告書の提出期限は、2026年3月18日(期日厳守)、会計報告書の提出先は、事務局会計担当(三重大学 村田晋太郎murata【アット】edu.mie-u.ac.jp)とする。
5. 研究期間は2025年8月から2026年3月18日とする。研究成果の概要は2026年3月18日までに文書(A4版)(様式2)で報告する。研究成果報告書の提出先は、事務局庶務担当(岐阜大学 小井戸あやの koido.ayano.x0【アット】f.gifu-u.ac.jp)とする。また研究成果は、2026年度地区会研究会(5月頃予定)にて報告する。研究成果報告の内容は、会報第32号(2026年8月発行予定)に掲載する。